

## 第9回「金融機関支店長会議」



日：令和元年7月17日  
場：袋井市役所3階「301会議室」

## 地域内消費の拡大を実現させ、まちをもっと元気に… 「新しいことをやってみよう」とする若者を応援することが大事

金融機関支店長会議メンバー

株式会社静岡銀行袋井支店	支店長	片山 貴彦	島田掛川信用金庫袋井支店	支店長	深津 真喜
スルガ銀行株式会社袋井支店	支店長	浅川 健一	遠州中央農業協同組合袋井支店	統括本部長	杉山 誠人
(株)清水銀行袋井支店	支店長	芝田 光弘	静岡県労働金庫袋井支店	支店長	原田 実
浜松磐田信用金庫袋井中央支店	支店長	野中 太郎	日本政策金融公庫浜松支店	支店長 兼中小企業事業統括	乾 豊和



### 1 まちの活力を向上させるために

- 現在、この地域を牽引しているのは老舗・大手企業が多い。今後、地域活性化の重要なカギを握るのは、元気とやる気のある若手経営者。「やらまいか精神」のように新たな試みに果敢に挑戦する気概のある人達を、みんなで応援し、まちを元気にする新たな牽引役を地域全体で育むことが大事。
- 農業はICTのさらなる活用が必要。産学官連携をさらに進め、先進的な取組に挑む農業者の活動を支援する（資金調達や技術支援等）仕組みを充実させ、高付加価値型の農業が営まれる農業先進地を目指してはどうか。
- 袋井は地の利もあり、観光等で人を呼び込む機会が多い。県や近隣市町とも連携し、エコパの利活用等を含め、モノやコトを組み合わせた新たな展開が地域活力を高めるのではないか。
- せっかく稼いだお金が地元に着いていない。消費を喚起させる魅力的な場所やモノを地域内でどう作るかが大事。
- 人手不足による廃業は、年々増加。地域の産業と雇用を支えてきた事業の承継は、金融機関としても大きな課題と感じている。

### 2 定住促進に向けて

- 袋井の印象は、若い世代が多いまち。マイホームの取得など定住を考えている子育て世帯にとって、①近隣市町と比べて住宅取得価格の手ごろ感や、②普段の生活に大きな不便がないこと、③子育てをしている世代が多いということは魅力。住む場所を決めた選定の理由に「子育て環境」を挙げる家庭は多い。定住促進策として、子育て支援の充実強化は必須。
- 袋井は、感覚的にも経済的な指標面からも極めて平均的なまち。「袋井といえば〇〇」といったまちのブランドや特色（各事業を包み込むような物語等）を築くことも必要ではないか。
- 移住の促進と産業振興の両面から、首都圏等で創業を希望する者と地域内で事業継承等を望む者とのマッチングを実現させたい。

### 3 包括連携協定の取扱いについて

- 次期戦略においても連携協定を維持した上で、共通テーマに加え、各金融機関と個別に推進テーマを協議・設定することで合意。